

# 親子聖書日課

NO.1589 2019.3/10-16 名前

[日]人は他人の罪には気づくが、自分の罪には盲目です。ダビデも例え話の悪人が自分とは気づきません。そこで「その男はあなただ」とナタンから指摘されて初めて気づきます。辛くても、自分の罪が問われてこそ、主の救いに与れるのです。

[月]ダビデの長子アムノンが腹違いの妹タマルに恋し、カづくで犯した酷い事件です。ここには全く主が出てきません。主を求めない人は欲望のまま生きるので、自制心は御霊の結ぶ実ですから、主に従い、主の霊に満たされることが大切です。

[火]ダビデはアムノンのしたことに怒りましたが、何の処罰もしません。自分も同じような愚かな事をしたので、毅然とした態度が取れません。罪は家庭にまで及び、アブサロムの復讐を生みます。カニの親子にならぬよう、主を見上げて生きよう！

[水]ヨアブは追放されたアブサロムを連れ戻すため、知恵のある女を用いてダビデに働きかけます。人の心は誰かの仲介によって動くもの。知恵のある女は現代も必要です。私達も、主の救いを伝える仲介者として、主の知恵を頂いた働こう！

[木]中途半端な態度はよくありません。ダビデはアブサロムを呼び戻しながら、会うのでも叱るのでもなく、この態度が無法者をのさばらせました。まず「私の前に出る」対話を始めることです。すると罪が示され、悔い改めと和解に至るでしょう。

[金]私達の心は簡単に盗まれます。アブサロムのような甘い囁きやありもしない力に、人は簡単にだまされます。そこには本当の救いはありません。人の言葉に振り回されてはいけません。心が盗まれないように、御言葉に聴き従いましょう。

[土]ダビデにとってお宝である神の箱は持ち続けたかったでしょう。しかし、それを都へ戻します。お宝よりも神の御心を求めて、主の委ねました。私達もお宝を主の下へ返すべきです。「主の御心に適うのであれば」御国を見せて下さいませ。



	聖書	問題	答え
日	サムエル下 12:1-31	ナタンはダビデに向かって「その男は誰だ」と言いましたか。	
月	13:1-22	愚か者の一人になってしまったのは、誰ですか	
火	13:23-39	アムノンを殺せと命じたのは、誰ですか。	
水	14:1-17	神は追放された者がどうされたままになることを望まれませんか。	
木	14:18-33	アブサロムは何年間王の前に出られませんでしたか。	
金	15:1-23	アブサロムはイスラエルの人々の心をどうしましたか。	
土	15:24-37	私が何に適うのであれば、主は連れ戻して下さいますか。	
		<b>感想と祈りの課題</b>	